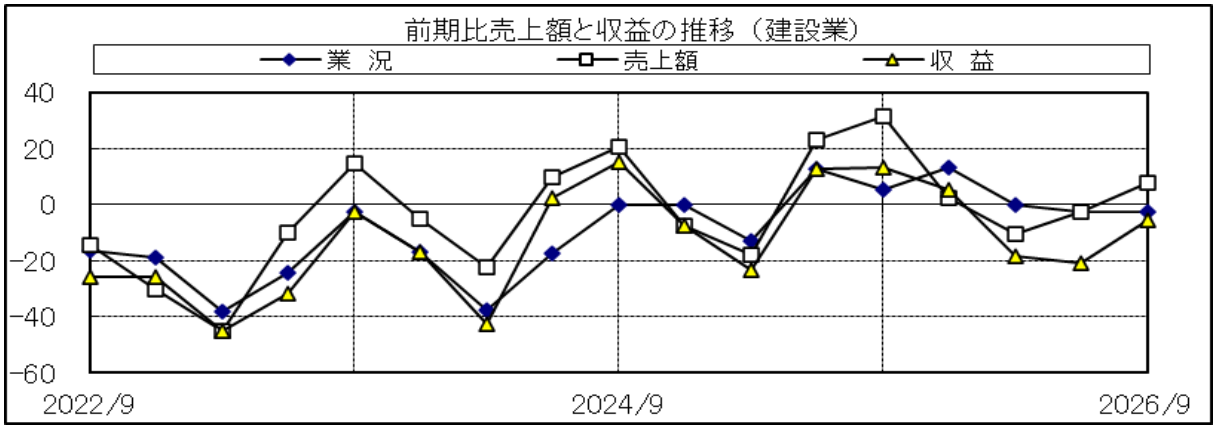
建　設　業　38企業（回答率100.00%）の調査結果です

□　景　　況

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
業　況	0.0	-2.6	-2.6	-13.2
売上額	-10.5	-2.6	7.9	7.9
収　益	-18.4	-21.1	-5.3	0.0

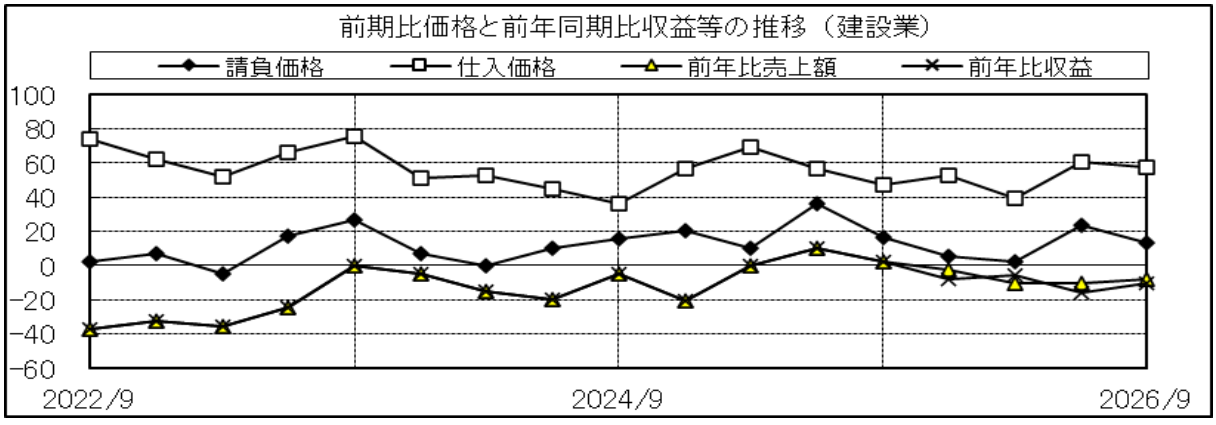
今期の業況判断D.I.は△2.6で、前期と同水準となった。前年(5.3)比で 7.9 ポイント下降した。地区別の D.I.は高い順に、様似が最も高く、次にえりも、三石、広尾、浦河と続き、静内が最も低い水準となった。売上額判断D.I.は、7.9で、前期比10.5ポイント上昇。収益判断D.I.は△5.3で、前期比15.8ポイント上昇した。



□　価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
請負価格	2.6	23.7	13.2	10.5
仕入価格	39.5	60.5	57.9	47.4

請負価格判断D.I.は13.2で、前期比10.5ポイント下降、前年(26.3)比で 13.1 ポイント下降した。仕入価格判断D.I.は57.9で、前期比2.6ポイント下降。前年(47.4)比で10.5ポイント上昇した。



□　雇用面の動き

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
残業時間	-13.2	-7.9	-2.6	2.6
人手状況	-42.1	-47.4	-52.6	-50.0

残業時間判断 D.I.は△2.6 で、前期比 5.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I.は△52.6 で、前期比 5.2 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

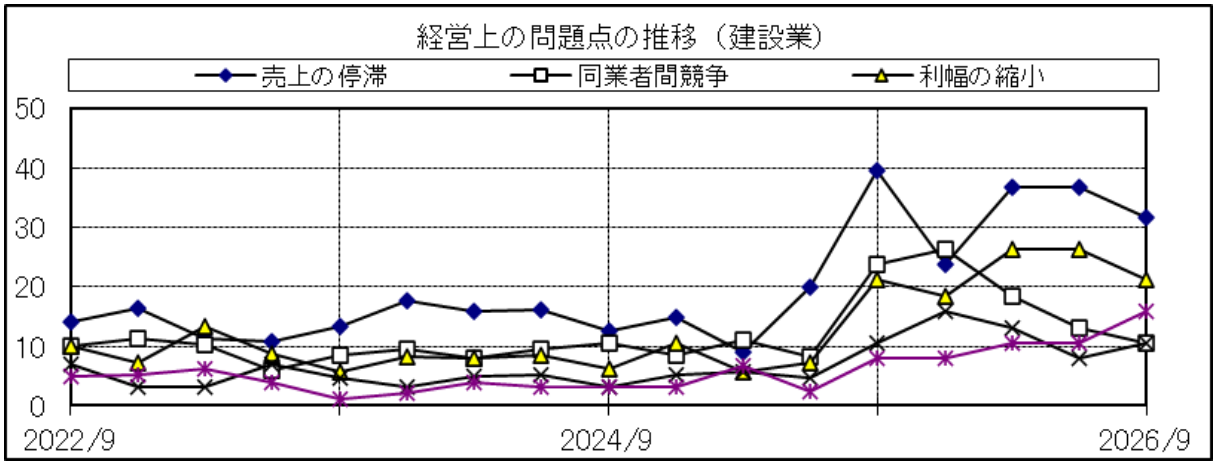
設備投資の充足感を示すD.I.は△13.2で、前期(△7.9)比5.3ポイント下降した。

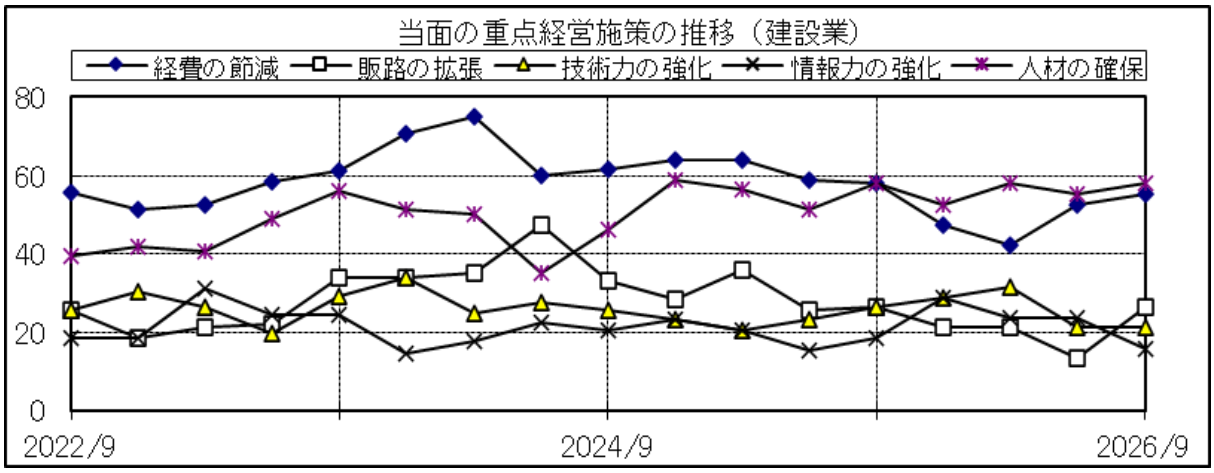
設備投資実施企業割合は21.1で、前期(21.1)と同水準となった。設備投資は、前期8社に対し、8社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が 63.2%と最も多く、次に「人手不足」44.7%、「売上停滞減少」31.6%、「利幅縮小」21.1%、「地場産業衰退」15.8%、「同業者競合」・「下請確保難」・「人件費増加」・「諸経費増加」 が 10.5%、「大手企業競合」・「技術力不足」が 7.9%となっている。

重点経営施策では、「人材確保」が 57.9%と最も多く、次に「経費節減」が 55.3%、「販路拡大」26.3%、「技術力強化」21.1%、「情報力強化」15.8%、「教育訓練強化」・「労働条件改善」・「不動産有効活用」が5.3%、「新事業開始」2.6%となっている。





□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△13.2と、今期比10.6ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は7.9と、今期と同水準を見通している。

予想収益判断D.I.は0.0と、今期比5.3ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D.I.は10.5と、今期比2.7ポイントの下降を見通している。

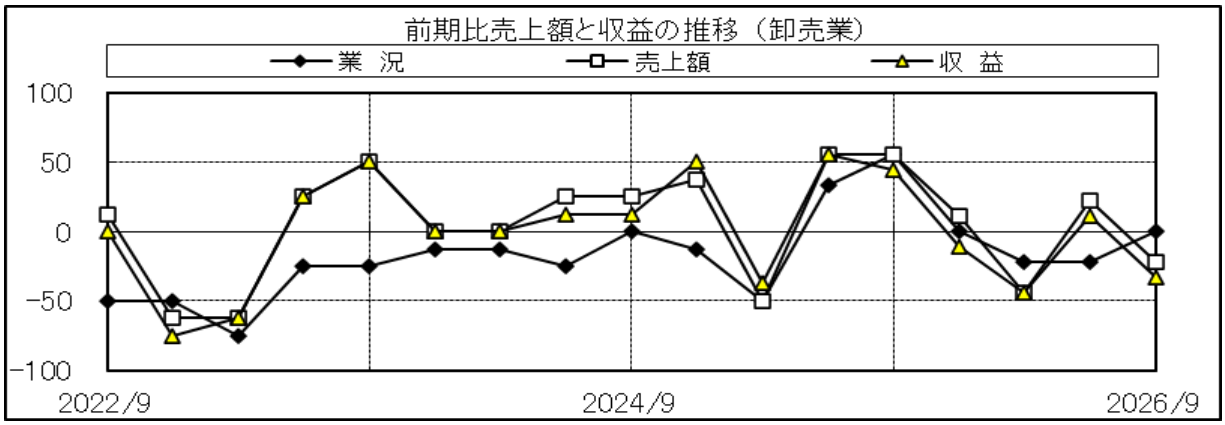
予想仕入価格判断D.I.は47.4と、今期比10.5ポイントの下降を見通している。

卸　売　業　９企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□　景　　況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業　況	-22.2	-22.2	0.0	0.0
売上額	-44.4	22.2	-22.2	22.2
収　益	-44.4	11.1	-33.3	22.2

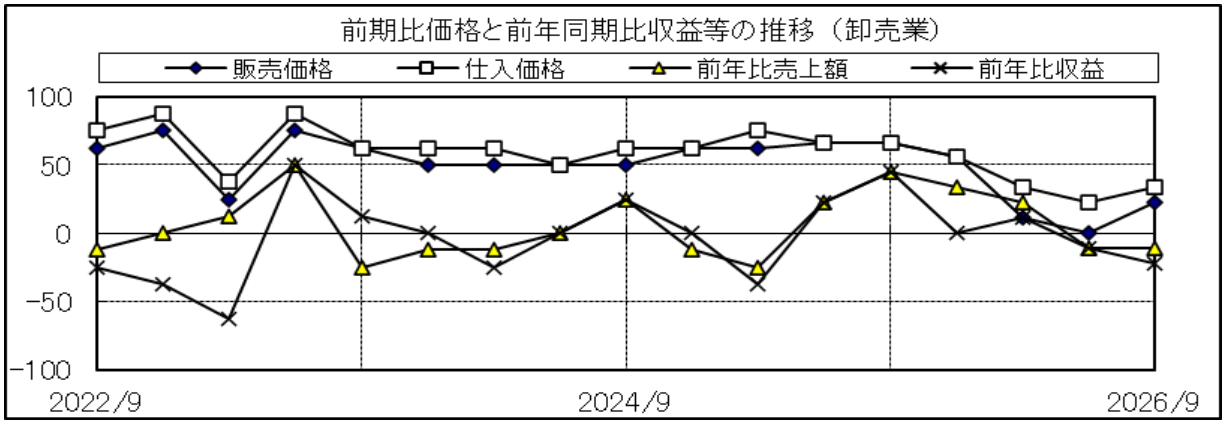
今期の業況判断D.I.は0.0で、前期比22.2ポイント上昇、前年(55.6)比で 55.6 ポイント下降した。地区別 D.I.の水準は、静内地区が上昇、浦河、三石、様似地区は横這いとなった。売上額判断D.I.は△22.2で、前期比44.4ポイント下降。収益判断 D.I.は△33.3 で、前期比 44.4 ポイント下降した。



□　価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
販売価格	11.1	0.0	22.2	44.4
仕入価格	33.3	22.2	33.3	44.4

販売価格判断 D.I.は 22.2、前期比 22.2 ポイント上昇。前年(66.7)比では 44.5 ポイント下降した。仕入価格判断D.I.は 33.3 で、前期比 11.1 ポイント上昇。前年(66.7)比では 33.4 ポイント下降した。業種別では、水産業は、販売、仕入価格はともに下降、食品業は、販売、仕入価格はともに上昇した。



□　雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	11.1	11.1
人手状況	-44.4	-33.3	-22.2	-33.3

残業時間判断 D.I.は 11.1 で、前期比 11.1 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I.は△22.2 で、前期比 11.1 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

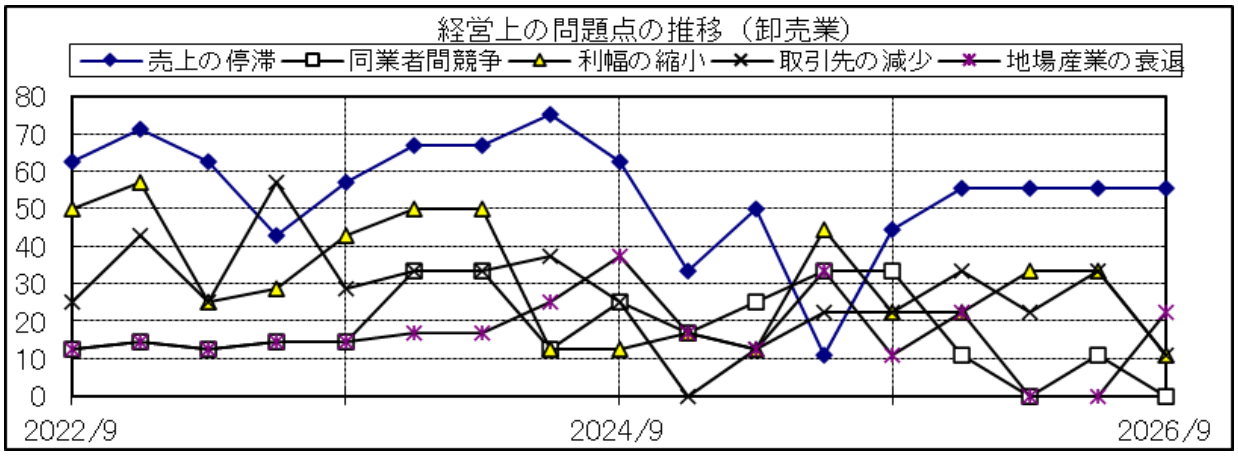
設備投資の充足感を示すD.I.は△11.1で、前期(△22.2)比11.1ポイント上昇した。

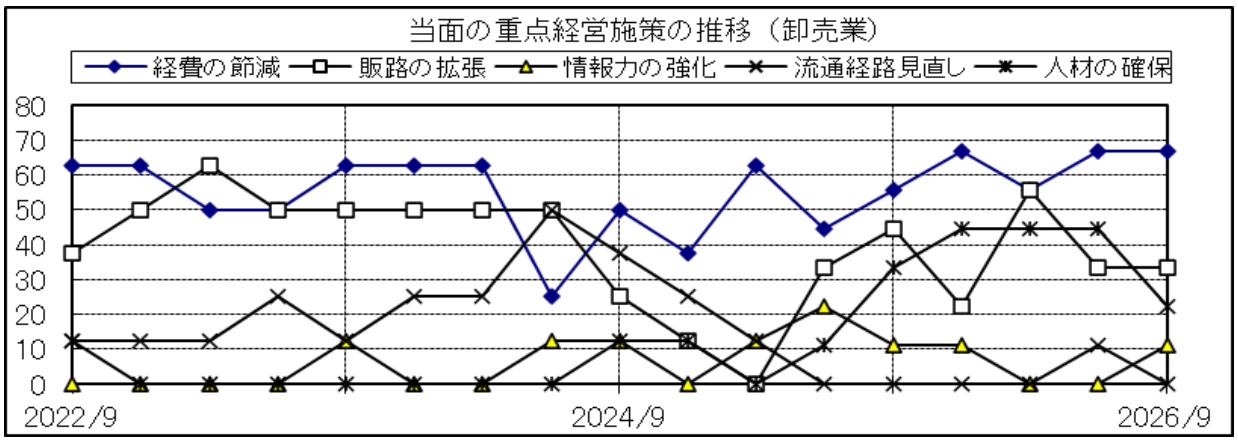
設備実施企業割合は11.1で、前期(11.1)と同水準となった。設備投資は、前期1社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資は、1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が55.6%と最も多く、次に「人手不足」・「人件費増加」・「地場産業衰退」が22.2%、「輸入製品との競合」・「小口注文配送増加」・「利幅縮小」・「販売商品不足」・「値下要請」・「値上要請」・「諸経費増加」・「取引先減少」・「為替レート変動」が11.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が66.7%と最も多く、次に「販路拡大」33.3%、「品揃えの充実」・「人材確保」が22.2%、「情報力強化」・「輸入品取扱」が11.1%となっている。





□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は0.0と、今期と同水準を見通している。

予想売上額判断D.I.は22.2と、今期比44.4ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は22.2と、今期比55.5ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は44.4と、今期比22.2ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D.I.は44.4と、今期比11.1ポイントの上昇を見通している。